



障害者の雇用について聴く



1月22日(火) バリアフリー分科会では定例会の場に市内で障害者を雇用している事業主さんに講演に来ていただき現場の声を聞く場をもちました。

講演くださった佐野さんは「障害を持つ親戚の子と共に育ったかわりが活動の背景にあるのかも」と話す。

事業主さんより

手作業での仕事で障害者(療育手帳B程度の知的障害4人・聴覚障害1人)を雇用しているが、現在、企業経営は厳しい中、障害者の雇用についても厳しいものがある。現実障害者の解雇も考えたが、障害者の親などから「賃金は少なくても通わせてほしい」との声があり、中止した。特に聴覚障害は問題なく作業を行なっている。近所の女性が朝礼の内容をメモしてくれたり、手話を覚えてくれたりして会社全体としても障害者の理解にもつながっている。しかし企業としては正直足を引っ張られている状態であるのも事実。

障害者を雇用する際の利点は

- ・ 休まない・きっちりと真面目に仕事をしてくれる(始めは興味を引くのに大変だったが…)
- ・ 障害者が頑張る事によって周りの意識も上がる

問題点は

- ・ 変化に対応することが難しい。自分で判断できない。(どうしても指示待ちになる)

その他出席者の皆さんの声 ☆印

☆農作業を中心とした作業所を作りたいと思っている

農作業に関しては毎日の変化が見えず「ゆっくり」仕上げていかななくてはならないのでそれにあつた障害者でないと難しいが逆にあえばすごい良いのではないかと? ☆やはり、親の考えとしても、給料的なものはいらないが、日常作業をさせてもらうだけでもありがたい。☆重度の障害者も作業は不可能ではないが、作業を覚えるまでに非常に時間がかかる。今後住民のニーズに対して行政にはたらきかけていきたい。

☆軽度の障害者だと作業所にも普通の事業所にも適応できず、宙ぶらりんになってしまう場合もあり、難しい。最初はまずコミュニケーション! 話合いをすることは大事! しかし仕事以外のことでお願いをされると嫌がられたり、コミュニケーションが難しい。障害の程度は関係なく、「その人が何を出来るか?」であり、仕事さえしてもらえればそれでよい。障害者・健常者関係なく、仕事をする際に必要なのは「何を知っているか」ではなく「何ができるか」である。☆他市の作業所に仕事を依頼し、作業風景を見に行つたが、「能率」「仕事」を重視ではなく、「ゆとり」「のびのび」を大切にしている。その障害の個性をしっかり把握していないと雇用は難しい。☆障害・健常関係なく、子どもを育てていくには親や周囲が「環境」を整えることが大切だ。

目次:

障害者雇用	1
障害児を持つ親の交流会をつくろう KIFAの外国語ニュース 中日新聞で報道	2
鈴鹿川流域の環境展 商店街(商売)を考える	3
第2回市民交流会・きらめき亀山21 これからの行事予定	4

講演会等が連続!

2月23日(土) 9時30分~
諸井 虔
服部千代講演会
亀山文化会館

2月23日(土) 午後7時~
サンガンゴイ博士
アフリカを語る
総合保健福祉センターあいあい

2月24日(日) 午後1時~
第2回市民交流会
「きらめき亀山21」
青少年研修センター

万障繰り合わせて是非ご出席ください。



障害児を持つ親の交流会をつくりたい

私の子どもは高機能自閉症という障害を持ち現在井田川小学校の障害児クラスでお世話になっています。私自身は「ひまわりの会」に入会し親どうし話し合いをしています。ただひまわりの会は幼稚園保育園の年長～小学校低学年の子の親が中心になっております。本来ならば未就園の子～在宅で家にいる成人の親の意見も聞きたいのですが未就園の子は子どもの障害について認められない方もおられまた在宅の障害の方については市でもその数を把握できない状態であり多くの障害児・者の親の声が聞こえません。そこで親が子どもの障害について認知してみえ、人数の把握もしっかりしている小中学校の障害児クラスの親との話し合いから始めだんだんその輪を広げて将来的には障害の子を持つ親やこのことを理解し支援しあう方々との話し合いの場にしていきたいのです。

やりたい活動

親どうし話し合い・情報交換・悩み相談
将来に向けての話などを通し皆で考える。
これにより障害児の療育・就労問題・親の高齢化に伴うグループホームの話など皆の意見をまとめて必要となれば行政に働きかけもしたいと思います。亀山の町を障害児・者が住みやすい町にしたいと思うのです。

浜野



毎月「あいあい」で開かれているバリアフリーのまちづくり定例会
多くの市民の皆様の自由な参加をお待ちしています。
メインテーマは
「心のバリアーをなくしましょう」



ポルトガル語
KIFA NEWS
同様に英語版もあります。A4
4ページ

KIFA(キーフア)

とは？

亀山国際交流の会の呼称です。

「きらめき亀山21」

国際交流分科会より新しく発足しました。個人年会費2000円あなたの入会参加をお待ちしています。

この新聞は毎月1日の市広報が出ると直ちに必要項目を抜粋し時候のニュースを追加しボランティア数人で手分けしてポルトガル語と英語に翻訳しパソコンで編集。インターネットを活用して何人かで校正・修正し毎月21日には紙面と「きらめき亀山21」ホームページで公開しています。

KIFAの外国語新聞 中日新聞にも紹介 2月9日中日新聞朝刊の要約

亀山市のボランティアグループ亀山国際交流の会（略称KIFA、古市修会長、会員三十二人）が、市広報「かめやま」の情報を抜粋した英語とポルトガル語版「KIFA NEWS」の発行を始め、市内に住むブラジル人ら外国人に好評という。

毎月発行される市広報から情報を抜粋。現在第3号を準備中。ポルトガル語版250部、英語版50部を刷り、市民課窓口のほか、市内の企業や市内の小中学校などに通う子供たちを通じ、外国人世帯に配布している。20部ずつ置いている市民課によると、一週間ほどでなくなり、不足の場合はコピーしている。同課通訳担当の伊達モニカさんも「これまで病院へ行って自費で受診していたが、掲載されている市のがんや乳幼児検診なら600円。大変助かると喜ぶ人が5-6人いた」と好評という。同市によると、市内には1752人の外国人が住み、全市民の4・32%を占め、13市で2番目に高い。古市会長は「亀山に住んでよかったと思ってもらおうと会を設立した。同じ市民として市の情報は知る権利があり、少しでもお役に立てれば」と話している。



「鈴鹿川流域の環境展」に参加

1月26日イオン鈴鹿ショッピングセンターでのイベントに「環境分科会の活動」「亀山えーとこ気付き運動」の2テーマで出展参加、他にも亀山周辺から茶茶の会、新日本婦人の会、愛里寿、亀の会が参加しました。

写真は亀山いいとこ絵葉書とカレンダーの即売コーナーを見る来訪者の皆さん。



「商店街（商売）を考える」分科会より

今回は、小菅ふとん屋さんに参加してもらい、往時の亀山大市の賑わい、厳しい時期での商売の工夫などの話を伺いました。

●亀山大市のこと、ふとん屋商売のこと

- ・むかしは、大市では座布団が沢山捌け、座布団作りに追われる忙しい思いをしたが、昨今はそんな忙しさは無い。
 - ・布団生地を切り揃えて端切れにすると結構売れる。パッチワークや小物作りの材料に買っていかれる。大市で端切れが売られるのを当てにしてお客が来る。
 - ・以前はブライダル用に布団が付き物で良く出たが、最近では部屋が狭いからという理由で嵩張る布団は敬遠されている。需要が控え気味になっている。
 - ・布団地の柄絵は通販などとは違い、いろいろ取り揃えており、店に来てもらえれば好みの柄絵を選んでもらえる。・綿打ち直しは利幅が薄いことと需要が少ないこともあって積極的ではないが、当てにされていることもあり、年に2回はちらしを出して注文に応じている。
 - ・街中から離れた川崎、長明寺、田村辺りから、お仲間同志連れ立って買物に来てくれるお得意さんもあったが、高齢化して足が遠のいている。
- <お店として、いろいろ工夫をし頑張っておられる様子を知ることが出来ました。>

●商店街活性化のアイデア

- ・お買物巡回バスの運行：遠隔地の、高齢化してとかく足が遠のきがちな人達にも、街中にきてもらいやすくするため、公民館前停車の巡回バスを運行してもらおう。
- ・他へ流れる買い物客を亀山へ引き戻すため、「地産地消」啓蒙の看板を掛ける。
- ・いろんな機会を捉えて「亀山物産展」を出店。
- ・空店舗活用の具体策
- ・「商店街（商売）を考える」ネットワーク作り
- ・地産地消による物産の出張販売策：具体的には「桜まつり」対応
- ・振興会、商工会、商工会議所、商工農林課・企画課（行政）などへの働きかけ。
- ・他の商店街、商店へのつなげかた。商店街の人達が少しでも多く参加する協働による活性化の取組み。
- ・彦根夢京橋キャスルロード見学会：町並み保存分科会が企画した彦根の町並み見学会に参加。商店街の人達にも広く参加を呼びかける。
- ・平成14年度から始まる、亀山市の市民生活の活性化に寄与し、公益上必要と認められる事業又は活動を対象にした市の補助金等公募、に応募。



「第2回市民交流会・きらめき亀山21」準備進む

運営は、初めから5つほどのサブテーマに分散して各会場で語り合ってもらいます。

6つのサブテーマが決まりました；

- ・教育 ……リーダー：横山さん
- ・福祉 …… ”：藤川さん
- ・文化・歴史 …… ”：長嶋さん
- ・環境 …… ”：浅田さん
- ・地域の活性化 …… ”：岩間さん
- ・健康・スポーツ… ”：

テーマが大きく広がりがあるので、語り合いをうまく進めるために必要なところは、ファシリテーターに来ていただきます。

ファシリテーター(facilitate)：

交渉などを促進し円滑にする。を意味する。会議などの意見交換の場で、単なる司会進行役ではなく、会議が活発になるように、参加者の意見を上手に引き出す人のことを指す。同じ目的意識をもったグループの中で、参加者の潜在的な思いを引き出し、統一見解を見出せるように手助けをする。ファシリテーターとして注意しなければならないことは、意見を上手に引き出すために、人の話しを遮らない。発言しやすい場を作ることである。



1月26日の亀山大市では当市出身の市橋隆雄さんを支えるチャリティバザーが亀山ライオンズクラブと「市橋隆雄さんを支える会」とで開催されました。「きらめき亀山21」の皆さんも応援にかけつけ大繁盛のうちに昼過ぎには用意した全品を売り尽くしました。収益金は全額ケニアに送られ子どもたちの自立を促す教育活動等に使われます。

メールの使える皆様は「きらめき亀山21」メーリングリストに加入してください。無料です。携帯でもOK。kirakame21@freeml.com にメールを送るだけで他の加入会員全部にメールが届く便利な手段です。現在40名の皆さんが活発に意見交換しています。

HPのトップ画面から加入できます。

「きらめき亀山21」ホームページ

<http://www6.ocn.ne.jp/~kameyama/kirameki/>
毎日20件程度のアクセスがあり常に最新の情報を発信しています。

今後の「きらめき亀山21」関連の行事

諸井虔 服部千代講演会	2月23日(土) 9:30~12:30	亀山市文化会館 無料
サンガンゴイ博士 アフリカを語る	2月23日(土) 19:00~	あいあい 無料 一般市民対象
第2回市民交流会 「きらめき亀山21」	2月24日(日) 14:00~16:00	青少年研修センタ
彦根の町並みを見に行こう	2月28日(木)	参加定員になりました
商店を考える 分科会	3月4日(月) 19:30~	市役所3F
亀山の自然環境を愛する会	3月6日(水) 19:30~	あいあい
子ども分科会	3月9日(土) 14:00~	市役所3F
バリアフリー	3月12日(火) 18:30~	あいあい
亀山国際交流の会	3月13日(水) 19:30~	市役所3F
企画広報リーダー会議	3月15日(金) 19:30~	市役所3F
人いきいきネット	3月18日(月) 19:00~	白子情報百貨店
講演会 里山の役割と維持	3月19日(火) 19:30~	あいあい
生涯学習	3月21日(木) 18:30~	市役所3F
定例全体交流会	3月21日(木) 19:30~	市役所3F

編集作成：「きらめき亀山21」広報

amani@helen.ocn.ne.jp